

ドメイン名の最新動向

才門 功作 / ウィリアム・ジェイコブ 株式会社インターリンク

ドメイン名の登録総数は「.xxx」の新規導入などで2億2500万件に拡大 新gTLDの申請件数が2千件を突破しドメイン名の変革期に突入

世界および国内のドメイン名登録数推移

「.com」や「.net」の運営を手がける米VeriSignが2012年3月に公開した「THE DOMAIN NAME INDUSTRY BRIEF volume 9」^{(*)1}によると、2011年度末の全トップレベルドメイン(TLD)下におけるドメイン名登録総数は2億2500万件となっており、2010年度末のドメイン名登録総数が2億53万件であったことから、2011年度に全世界で2400万件以上、約10%ドメイン名が増加した計算となる。

登録総数の内訳は、「.com」や「.net」などの一般名称トップレベルドメイン(gTLD)が1億3440万件、「.jp」(日本)や「.kr」(韓国)などの国名を現す国別トップレベルドメイン(ccTLD)が9060万件となっており、2010年度末と比較してgTLDが約7%、ccTLDが約13%増加していることがわかる。

2011年度に新しく追加されたgTLDはアダルト業界用ドメインの「.xxx」で、登録開始から3か月間で登録数は10万件を突破している。

また、日本レジストリサービス(JPRS)が発行している「JPドメイン名レジストリレポート2011」^{(*)2}によると、2012年1月1日の時点におけるJPドメイン名の累計登録数は125万8386件で、2012年1月1日の時点における登録数と比較して全体で6万281件、約5%の増加となっている。

資料3-4-1のとおり世界では各国言語による国際化ドメインIDN ccTLD(Internationalized Domain Name ccTLD)^{(*)3}の導入が順次開始されている。わが国におけるIDN ccTLD「.日本」については、近い将来JPRSに

よる導入および運営が開始される見込みであるが、日程については依然未定となっている。

ちなみに「.日本」について、JPRSはドメイン名登録者と「.jp」のドメイン名登録者を完全に一致させ、「.日本」を「.jp」の付加サービスとして提供する方針であることを発表している^{(*)4}。

世界および国内のドメイン名紛争の状況

世界的な所有権機関(World Intellectual Property Organization、WIPO)に対して行われた統一ドメイン名処理方針(Uniform Domain Name Dispute Resolution Policy、UDRP)に基づくドメイン名紛争の申し立て件数の推移を見ると、2011年は世界で合計2764件の申し立てが行われ、日本からは13件の申し立てがあった。また、被申し立て人が日本国内の住所にてドメイン名登録を行っていたケースは合計23件であり、それらのうち日本語による紛争解決手続きが行われたケースは3件であった。

JPドメインにおける申し立て件数の推移を見ると、2011年は合計12件の申し立てが行われ、2000年以降では過去最高の申し立て件数となった。

しかし、ドメイン名紛争関連の申し立て件数は、米国やそのほか先進国と比較すると依然極めて低い水準にあり、わが国ではユーザーによる倫理観を伴ったドメイン名登録が行われているといえる。

ドメイン名紛争解決については、現在ICANNにて募集・審査プロセスが進められている新gTLDの導入に向け、従来のUDRPに加えて、より簡便に悪意のあるド

資料4-4-1 gTLDおよびccTLDの種類

gTLD (22種類)	ccTLD (290種類以上)
【従来から存在しているgTLD】	【アスキー文字】
.arpa (インターネットインフラ用)	.jp (日本)
.com (商業組織用)	.ar (アルゼンチン)
.edu (教育機関用)	.au (オーストラリア)
.gov (米国政府機関用)	.br (ブラジル)
.int (国際機関用)	.ca (カナダ)
.mil (米国軍事機関用)	.cn (中国)
.net (ネットワーク用)	.de (ドイツ)
.org (非営利組織用)	.eu (欧州連合)
	.it (イタリア)
	.kr (韓国)
【2000年募集にて承認された新gTLD】	.nl (オランダ)
.aero (航空運輸業界用)	.ru (ロシア連邦)
.biz (ビジネス用)	.uk (イギリス)
.coop (協同組合用)	.us (米国)
.info (制限なし)	など
.museum (博物館、美術館用)	
.name (個人名用)	
.pro (専門家用)	
	【IDN ccTLD】
	قطر. (アラブ首長国連邦・アラビア文字)
【2003年募集にて承認された新gTLD】	.рф (ロシア連邦・キリル文字)
.asia (アジア太平洋地域用)	.中国 / .中國 (中華人民共和国・漢字)
.cat (カタロニアコミュニティ用)	.한국 (韓国・ハングル文字)
.jobs (人事管理業務関係者用)	など
.mobi (モバイル関係用)	
.tel (連絡情報用)	
.travel (旅行関連業界用)	
.xxx (アダルト業界用、2011年に運用開始)	

メイン名の停止措置が行える統一早期凍結システム (Uniform Rapid Suspension System、URS) が導入される予定である。

中古ドメイン市場について

世界最大手の中古ドメイン販売業者である独Sedo GmbHが公開している「2011 Annual Domain Market Study」(*5)によると、2011年に同社が仲介あるいは直接販売したドメイン名は合計3万9951件、売上高は約8440万ドルとなっていることから、平均販売価格は2100ドルを超える計算となる。

また、同社が2011年に販売した中古ドメイン名のうち、最も高額で落札されたドメイン名は「gambling.com」で、250万ドルにて取引された。

ICANNによる新gTLDプログラムの状況

インターネットのドメイン名およびIPアドレスを管理

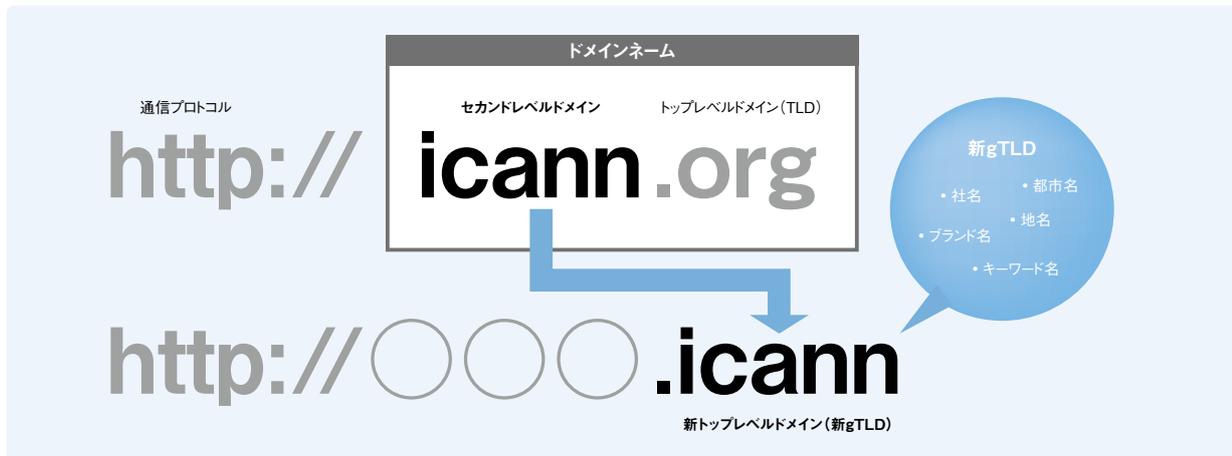
資料4-4-2 2011年にSedoにて高額で取引されたドメイン名

順位	ドメイン名	販売価格
1	gambling.com	2,500,000 (米ドル)
2	dudu.com	1,000,000 (米ドル)
3	88.com	850,000 (米ドル)
4	aktien.de	500,000 (ユーロ)
5	3d.com	500,000 (米ドル)
5	gamesforgirls.com	500,000 (米ドル)
7	datacenter.com	352,000 (米ドル)
8	poetry.com	335,000 (米ドル)
9	auction.com	270,000 (米ドル)
10	consolidation.com	220,000 (米ドル)

出所 2011 Annual Domain Market Study

しているICANN (Internet Corporation for Assigned Names and Numbers) は、2012年1月12日より4月12日までの期間、新しいトップレベルドメイン (新gTLD) の募集を行った。トップレベルドメインとは、インターネット上の住所を表すドメイン名の最も右側に来る文字列で、現在「.com」や「.org」など一般名称を表すgTLDが22種類、「.jp」(日本) や「.kr」(韓国) など各国に割り

図1 新gTLDの説明



出所 <http://urbanbrain.jp/ja/new-gtld/overview/>

当てられている ccTLD が 290 種類以上存在する。ICANN では今回、一般名称を表す gTLD について、新しい文字列の募集を行った。

今回の募集に際して ICANN は大幅な規制緩和を行い、企業による「社名」「ブランド名」の独占利用や「地名」などの創設を認める方針をとったことから、当初の ICANN による予測を大幅に超える 2091 件の申請が世界各国から ICANN に提出された^(*)6)。

企業による「社名」や「ブランド名」について、日本からはキヤノンが過去「.canon」の取得活動について表明を行っている^(*)7)ほか、グーグルが米大手メディアの Advertising Age からの質問に対して、新 gTLD を複数件申請することについて表明している^(*)8)。

また、「地名」では世界各地で「.nyc」(ニューヨーク)、「.paris」(パリ)、「.london」(ロンドン)、「.berlin」(ベルリン)などについて申請活動が行われており、わが国においても各自治体によって「地名」運営希望事業者の募集が行われた。

そのほか、一般名称では「.eco」「.hotel」「.love」「.music」「.shop」「.site」「.web」など多数の TLD について申請活動が行われており、早ければ 2012 年度上半期にそれら新しいドメイン名の一般ユーザーに対する販売が開始される見込みである。

2011 年度に「.xxx」の導入を行った ICM レジストリは、新 gTLD による「.pron」「.sex」「.adult」の申請を行うことを発表している。「.xxx」の導入に際してインドや中東諸国、インドネシア政府などから反対を受けている経緯

から、再度それらアダルト関連の TLD 承認については反対運動が起こるものと予想される。ちなみに「sex.com」は 2010 年 11 月に中古ドメイン市場にて 1300 万ドルで落札されている。

今後新 gTLD が導入されることにより、近い将来これまで 22 件であった gTLD が少なくとも数百、場合によっては千件以上に膨れ上がる可能性がある。新興国や発展途上国などを中心としたインターネットユーザーにとって選択肢が広がるというメリットがある一方で、商標を侵害するドメイン名の登録やフィッシング詐欺など、ドメイン名を利用した悪意のある行為が急増する可能性もあり、今後はドメイン名の動向について注意が必要である。

(*)1) THE DOMAIN NAME INDUSTRY BRIEF volume 9、
<http://www.verisigninc.com/assets/domain-name-brief-march2012.pdf>

(*)2) JPD ドメイン名レジストリレポート 2011、
<http://jprs.co.jp/doc/report/registry-report-2011.pdf>

(*)3) IDN ccTLD、漢字やカタカナ、ひらがな、アラビア文字、キリル文字など利用できるようにする技術。もしくは、このような文字列を利用したドメイン名。

(*)4) 「.日本」について (JPRS 公式ウェブサイト)、<http://jprs.co.jp/notice/dotnippon.html>

(*)5) 2011 Annual Domain Market Study、
http://sedo.com/fileadmin/documents/pressdownload/Q4_2011_DomainMarketStudy_US.pdf

(*)6) ICANN が申請受け付けに際して利用していたオンラインシステムに障害が発生し、申請情報について一部漏えいがあったことから、2012 年 5 月 9 日現在すべての申請作業は中断している。

(*)7) キヤノンが新トップレベルドメイン名「.canon」の取得活動を開始、
<http://web.canon.jp/pressrelease/2010/p2010mar16j.html>

(*)8) Google Plots Web Domain-Buying Spree、
<http://adage.com/article/digital/google-plots-web-domain-buying-spree/234009/>



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp